

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】令和 1 年 8 月 22 日 (2019.8.22)

【公表番号】特表 2018-530215 (P2018-530215A)  
 【公表日】平成 30 年 10 月 11 日 (2018.10.11)  
 【年通号数】公開・登録公報 2018-039  
 【出願番号】特願 2018-511155 (P2018-511155)  
 【国際特許分類】

H 0 4 W 74/02 (2009.01)

H 0 4 W 84/12 (2009.01)

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 74/02

H 0 4 W 84/12

H 0 4 W 72/04 1 1 1

H 0 4 W 72/04 1 3 3

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 7 月 9 日 (2019.7.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ワイヤレス通信の方法であって、

第 1 のワイヤレスデバイスが、無免許無線周波数スペクトル帯域中の第 1 のサブ帯域と、無免許無線周波数スペクトル帯域中の第 2 のサブ帯域とを識別すること、ここにおいて、前記第 1 のサブ帯域および前記第 2 のサブ帯域は、異なる、と、

前記第 1 のワイヤレスデバイスが、少なくとも第 2 のワイヤレスデバイスと第 3 のワイヤレスデバイスとの間の制御トラフィックの通信のために第 1 の持続時間の間、前記第 1 のサブ帯域を予約すること、前記予約は、前記第 1 のサブ帯域を通して前記第 1 のワイヤレスデバイスによって送信される第 1 の自己送信可 (自己 C T S) に少なくとも部分的に基づく、と、

前記第 1 のワイヤレスデバイスが、前記第 2 のワイヤレスデバイスまたは前記第 3 のワイヤレスデバイスから受信される第 2 の自己 C T S によって予約される第 2 の持続時間の間、前記第 2 のサブ帯域を通して送信することを控えることと

を備え、前記第 2 のサブ帯域は、前記第 1 の持続時間中に通信される前記制御トラフィックに基づいて、前記第 2 のワイヤレスデバイスと前記第 3 のワイヤレスデバイスとの間のデータトラフィックの通信ために予約される、

方法。

【請求項 2】

前記第 2 の持続時間の間に前記第 2 のサブ帯域を通してデータトラフィックを受信することをさらに備える、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記第 2 のサブ帯域のためのサブ帯域割り当てを、前記第 1 の持続時間の間に前記第 1 のサブ帯域を通して送信することまたは受信することをさらに備え、前記第 2 の自己 C T

S は、前記サブ帯域割り当てに少なくとも部分的に基づく、  
請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

第 3 の持続時間の間に前記第 2 のサブ帯域を通してデータトラフィックを送信することをさらに備え、前記第 2 のサブ帯域は、前記第 1 のワイヤレスデバイスによって前記第 2 のサブ帯域を通して送信された第 3 の自己 C T S による前記第 3 の持続時間のために予約される、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記第 1 の持続時間の間に前記複数の他のワイヤレスデバイスのうちの少なくとも 1 つによって、前記第 1 のサブ帯域を通して制御トラフィックを受信することまたは送信することをさらに備える、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記制御トラフィックを送信することは、  
ランダムアクセススキームまたは所定のラウンドロビン時分割多元接続 ( T D M A ) スキームに従って前記制御トラフィックを送信することを備える、

請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記複数の他のワイヤレスデバイスのために前記第 1 の持続時間の間、前記第 1 のサブ帯域を予約することは、

前記第 1 の持続時間の間に前記第 1 のサブ帯域を通して送信された制御トラフィックに関連付けられたワイヤレスデバイスまたは前記制御トラフィックに関連付けられていない中央コーディネータから前記自己 C T S を送信することを備える、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記第 1 の持続時間の間に前記複数の他のワイヤレスデバイスのうちの少なくとも 1 つによって、前記第 1 のサブ帯域を通して制御トラフィックを受信することをさらに備え、前記制御トラフィックは、トラフィック要求またはチャネル品質インジケータ ( C Q I ) 報告のうちの少なくとも 1 つを備える、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記自己 C T S は、前記複数の他のワイヤレスデバイスが属するネットワークに対応するネットワーク識別子 ( I D ) を備える、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

前記第 1 のサブ帯域は、前記第 2 のサブ帯域より低い周波数中にあり、前記第 2 のサブ帯域より小さい帯域幅を備える、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】

前記第 1 のサブ帯域は、サブ 1 G H z 範囲中にある周波数を備え、前記第 2 のサブ帯域は、2 . 4 G H z または 5 G H z 帯域中にある周波数を備え、前記第 2 のサブ帯域の帯域幅は、前記第 1 のサブ帯域より少なくとも 10 倍大きい、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 12】

ワイヤレス通信のための第 1 の装置であって、  
無免許無線周波数スペクトル帯域中の第 1 のサブ帯域と、無免許無線周波数スペクトル帯域中の第 2 のサブ帯域とを識別するための手段、ここにおいて、前記第 1 のサブ帯域および前記第 2 のサブ帯域は、異なる、と、

少なくとも第 2 の装置と第 3 の装置との間の制御トラフィックの通信のために第 1 の持

続時間の間、前記第 1 のサブ帯域を予約するための手段、前記予約は、前記第 1 の装置によって前記第 1 のサブ帯域を通して送信される第 1 の自己送信可（自己 C T S）に少なくとも部分的に基づく、と、

前記第 2 の装置または前記第 3 の装置から受信される第 2 の自己 C T S によって予約される第 2 の持続時間の間、前記第 2 のサブ帯域を通して送信することを控えるための手段と

を備え、前記第 2 のサブ帯域は、前記第 1 の持続時間中に通信される前記制御トラフィックに基づいて、前記第 2 の装置と前記第 3 の装置との間のデータトラフィックの通信のために予約される、

第 1 の装置。

【請求項 1 3】

前記第 2 のサブ帯域のためのサブ帯域割り当てを、前記第 1 の持続時間の間に前記第 1 のサブ帯域を通して、送信するまたは受信するための手段をさらに備え、前記第 2 の自己 C T S は、前記サブ帯域割り当てに少なくとも部分的に基づく、

を備える、請求項 1 2 に記載の第 1 の装置。

【請求項 1 4】

第 3 の持続時間の間に前記第 2 のサブ帯域を通してデータトラフィックを送信するための手段をさらに備え、前記第 2 のサブ帯域は、前記第 1 の装置によって前記第 2 のサブ帯域を通して送信された第 3 の自己 C T S による前記第 3 の持続時間のために予約される、

を備える、請求項 1 2 に記載の第 1 の装置。

【請求項 1 5】

ワイヤレス通信のためのコードを記憶した非一時的コンピュータ可読媒体であって、前記コードは、

第 1 のワイヤレスデバイスが、無免許無線周波数スペクトル帯域中の第 1 のサブ帯域と、無免許無線周波数スペクトル帯域中の第 2 のサブ帯域とを識別すること、ここにおいて、前記第 1 のサブ帯域および前記第 2 のサブ帯域は、異なる、と、

前記第 1 のワイヤレスデバイスが、少なくとも第 2 のワイヤレスデバイスと第 3 のワイヤレスデバイスとの間の制御トラフィックの通信のために第 1 の持続時間の間、前記第 1 のサブ帯域を予約すること、前記予約は、前記第 1 のワイヤレスデバイスによって前記第 1 のサブ帯域を通して送信される第 1 の自己送信可（自己 C T S）に少なくとも部分的に基づく、と、

前記第 1 のワイヤレスデバイスが、前記第 2 のワイヤレスデバイスまたは前記第 3 のワイヤレスデバイスから受信される第 2 の自己 C T S によって予約される第 2 の持続時間の間、前記第 2 のサブ帯域を通して送信することを控えることと

を行わせるように実行可能な命令を備え、前記第 2 のサブ帯域は、前記第 1 の持続時間中に通信される前記制御トラフィックに基づいて、前記第 2 のワイヤレスデバイスと前記第 3 のワイヤレスデバイスとの間のデータトラフィックの通信のために予約される、非一時的コンピュータ可読媒体。